



写真: デンヨーマニュファクチャリングコーポレーション

# 2014年3月期 決算説明会

2014年5月27日

**デンヨー株式会社**

# 目 次

---

## I . 2014年3月期決算の概要

取締役常務執行役員管理部門長 白 鳥 昌 一

## II . 2015年3月期通期の見通しと今後の経営方針

代表取締役社長 古 賀 繁

---

# 2014年3月期 決算概要

# 2014年3月期実績ハイライト(連結)

## ポイント

1. 前期比では売上・利益共に前期を上回る結果となった。
2. 固定資産や有価証券売却などにより特別利益 211百万円計上。

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	47,671	100%	49,832	100%	2,161	4.5%
営業利益	4,652	9.8%	5,320	10.7%	668	14.4%
経常利益	5,007	10.5%	5,636	11.3%	629	12.6%
当期純利益	3,398	7.1%	3,660	7.3%	262	7.7%
設備投資	1,457		2,453		996	68.4%
減価償却費	638		837		199	31.2%
1株当り当期純利益	149.0円		162.3円		13.3円	8.9%
ROE(%)	9.1%		8.9%			
1株当り年間配当金	22.0円		24.0円			

# 製品別売上高の動向(連結)

## 概況

1. 発電機は 1,392百万円(3.8%)の増加。
2. 溶接機は 429百万円(8.9%)の増加。
3. コンプレッサーは188百万円(23.2%)の増加。

(単位:百万円)

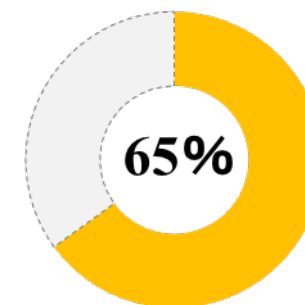
		2013年3月期		2014年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		47,671	100%	49,832	100%	2,161	4.5%
製品別	発電機	36,849	77.3%	38,241	76.7%	1,392	3.8%
	溶接機	4,834	10.1%	5,263	10.6%	429	8.9%
	コンプレッサー	805	1.7%	993	2.0%	188	23.2%
	その他	5,181	10.9%	5,334	10.7%	153	2.9%

# エンジン発電機(連結)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比 増減率
発電機	36,849 百万円	38,241 百万円	3.8%

国内は、非常用発電機・LPガス発電機が好調。可搬式発電機の出荷も増加。

海外は、北米・オーストラリア向け出荷が減少。



可搬式エンジン発電機の国内シェア

※当社調べによる



可搬式発電機



防災用発電機

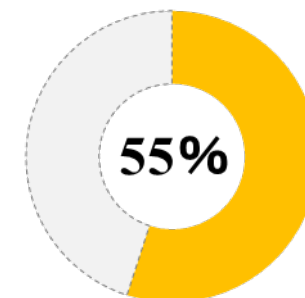
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬式発電機  
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機(定置型)  
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車など

# エンジン溶接機(連結)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比 増減率
溶 接 機	4,834 <sup>百万円</sup>	5,263 <sup>百万円</sup>	8.9%

国内は、小型溶接機の出荷が増加。  
海外は、北米向け減少。



エンジン溶接機の国内シェア  
※当社調べによる



エンジン溶接機

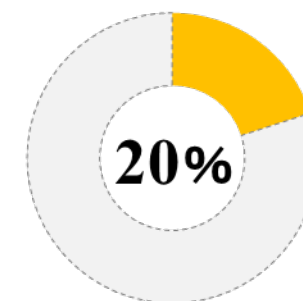
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発  
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、  
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

# エンジンコンプレッサー(連結)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比 増減率
コンプレッサー	805 <sup>百万円</sup>	993 <sup>百万円</sup>	23.2%

国内主力のリース・レンタル業界向けが増加。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる



エンジンコンプレッサー



モーターコンプレッサー

吐出空気量1.4<sup>m<sup>3</sup>/min</sup>から52.4<sup>m<sup>3</sup>/min</sup>まで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など



## そ の 他(連結)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比 増減率
そ の 他	5,181 <sup>百万円</sup>	5,334 <sup>百万円</sup>	2.9%

高所作業車、製品に付随する部品などが増加。

### その他の売上

- 高所作業車
- 高圧水洗浄機
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

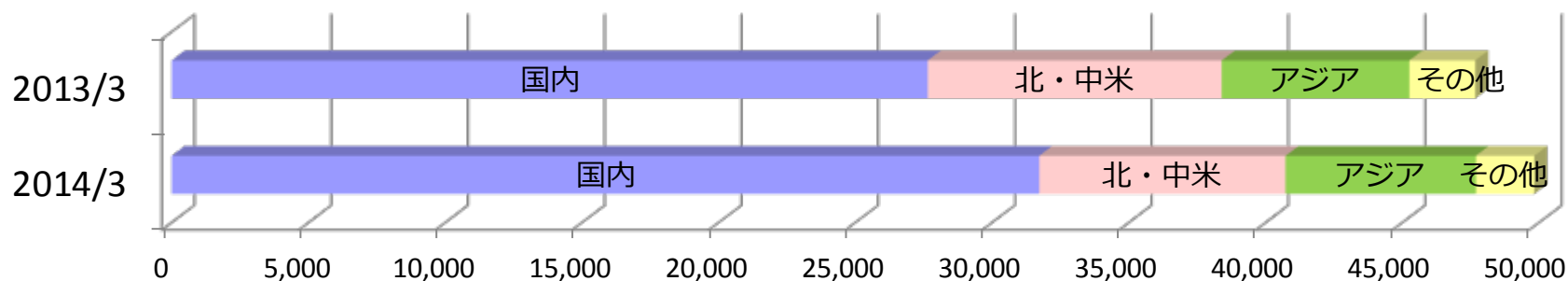


高圧洗浄機

# 地域別売上高の動向(連結)

(単位:百万円)

		2013年3月期		2014年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		47,671	100%	49,832	100%	2,161	4.5%
国内売上高		27,645	58.0%	31,727	63.7%	4,082	14.8%
海外売上高		20,026	42.0%	18,104	36.3%	△1,922	△9.6%
地域別	北・中米	10,753	22.6%	9,007	18.1%	△1,746	△16.2%
	アジア	6,862	14.4%	6,959	14.0%	97	1.4%
	その他	2,410	5.0%	2,137	4.3%	△273	△11.3%



# 営業利益増減の要因分析

## 営業利益増

原価率改善による売上総利益の増加が大きな要因。

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比増減
営業利益	4,652	5,320	668
営業利益率(%)	9.8%	10.7%	0.9ポイント

	2013年3月期	2014年3月期	前期比増減
売上総利益率	24.3%	25.9%	1.6ポイント
売上高販管費比率	14.5%	15.3%	0.8ポイント
売上高営業利益率	9.8%	10.7%	0.9ポイント

原価率は海外工場の稼働率向上などにより1.6ポイント低下。  
販管費比率は人件費、減価償却費の増加により0.8ポイント上昇。

# 連結貸借対照表

## 概要

1. 流動資産 2,213百万円の増加は、主に受取手形及び売掛金の増加によるもの。
2. 固定負債 1,314百万円の増加は、主に繰延税金負債の増加によるもの。

(単位:百万円)

	2013年3月 期末	2014年3月 期末	前期末比 増減額
流動資産	36,413	38,626	2,213
固定資産	19,301	22,886	3,585
資産合計	55,715	61,513	5,798
流動負債	12,420	12,799	379
固定負債	3,141	4,455	1,314
負債合計	15,562	17,254	1,692
純資産合計	40,152	44,258	4,106
負債純資産合計	55,715	61,513	5,798

# 連結キャッシュ・フローの推移

## 概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー2,338百万円。主に売上債権の増加によるもの。
2. 現金及び現金同等物の残高は688百万円減少した。

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,754	2,338
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	168	△ 1,776
I + II フリー・キャッシュ・フロー	4,922	562
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,006	△ 1,492
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	314	241
V 現金及び現金同等物の増減額	4,231	△ 688
VI 現金及び現金同等物の期末残高	10,520	9,831

---

# 2015年3月期の見通しと 今後の経営方針

# 2015年3月期予想～連結損益の見通し

## ポイント

1. 売上高は、510億円を予想。
2. 為替レートは100円/ドルを想定。

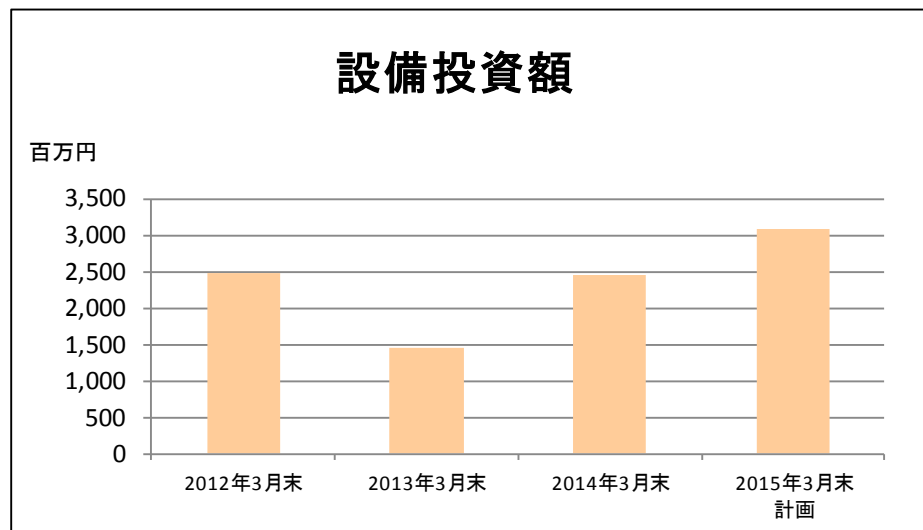
(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	49,832	100%	51,000	100%	1,168	2.3%
営業利益	5,320	10.7%	5,400	10.6%	80	1.5%
経常利益	5,636	11.3%	5,700	11.2%	64	1.1%
当期純利益	3,660	7.3%	3,550	7.0%	△ 110	△ 3.0%
設備投資	2,453		3,100		647	26.4%
減価償却費	837		900		63	7.5%
1株当り当期純利益	162.3円		165.0円		2.7円	
R O E ( % )	8.9%		8.3%		※株主資本は前期末の金額で計算。	
1株当り配当金(円)	24.0円		24.0円			

# 設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末 計画
設備費	2,480	1,457	2,453	3,100
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発研修センター 744</li> <li>福井事務棟、社員寮 397</li> <li>ベトナム工場 744</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発研修センター 814</li> <li>福井機械等 150</li> <li>アメリカ工場 237</li> <li>ベトナム工場 127</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井機械等 480</li> <li>西日本発電機 270</li> <li>ベトナム工場 440</li> <li>シンガポール 1100</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井機械等 370</li> <li>西日本発電機 200</li> <li>ベトナム工場 2000</li> <li>シンガポール 400</li> </ul>



デンヨーベトナム



# 製品別売上高の見通し(連結)

## 概況

1. 発電機は、1,059百万円(2.8%)の増加。
2. 溶接機は、37百万円(0.7%)の増加。
3. コンプレッサーは、157百万円(15.8%)の増加。

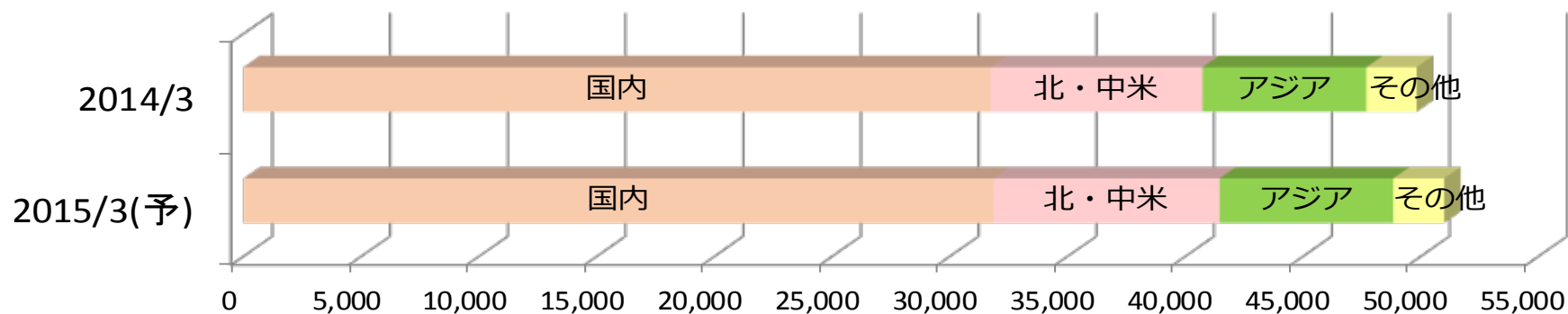
(単位:百万円)

		2014年3月期		2015年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		49,832	100%	51,000	100%	1,168	2.3%
製品別	発電機	38,241	76.7%	39,300	77.1%	1,059	2.8%
	溶接機	5,263	10.6%	5,300	10.4%	37	0.7%
	コンプレッサー	993	2.0%	1,150	2.3%	157	15.8%
	その他	5,334	10.7%	5,250	10.3%	△ 84	△ 1.6%

# 地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2014年3月期		2015年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		49,832	100%	51,000	100%	1,168	2.3%
国内売上高		31,727	63.7%	31,850	62.5%	123	0.4%
海外売上高		18,104	36.3%	19,150	37.5%	1,046	5.8%
地域別	北・中米	9,007	18.1%	9,610	18.8%	603	6.7%
	アジア	6,959	14.0%	7,370	14.5%	411	5.9%
	その他	2,137	4.3%	2,170	4.3%	33	1.5%



# 営業利益予想の内容

## 営業利益微増

営業利益率は前期並み、営業利益は80百万円の増加と予想。

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期(予)	前期比
営業利益	5,320	5,400	80
営業利益率(%)	10.7%	10.6%	△ 0.1ポイント

	2014年3月期	2015年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	25.9%	25.9%	0.0ポイント
売上高販管費比率	15.3%	15.3%	0.0ポイント
売上高営業利益率	10.7%	10.6%	△ 0.1ポイント

売上総利益率、売上高販管費比率とも前期並みを予想。

# 今後の経営方針

**経営理念:** パワーソースをテーマに安全性・経済性・環境性重視の製品造りに  
徹し、「**三者の得**」を追求。  
(使う人、売る人、造る人が各々利益を享受すること。)



## 経営戦略:

- ①パワーソースのパイオニアとして、技術力と販売のネットワークを駆使し、高性能発電機マーケットのナンバーワンを目指す。
- ②発電機の周辺事業の拡充。
- ③新規事業への参入。

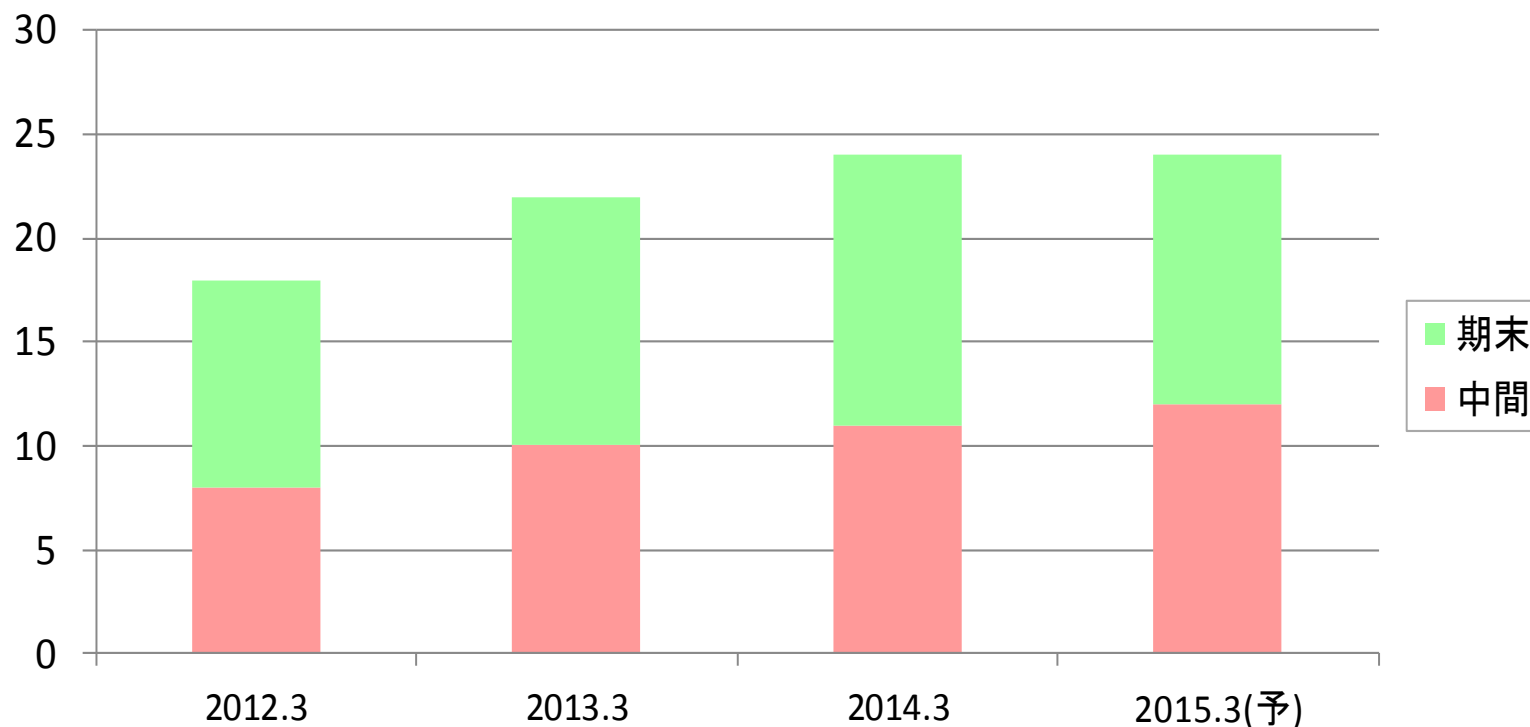
## 目標経営指標:

- ①ROE 8%以上 (2014.3期8.9%)
- ②売上高経常利益率 12%以上 (同 11.3%)

# 利益配分の方針

利益配分：収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元を充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 13年3月期 22円 ⇒ 14年3月期 24円 ⇒ 15年3月期 24円予想)



# 今後の事業戦略

## ポイント

- ・ 建設関連以外の市場向け製品の拡充
- ・ 環境対応型製品の開発
- ・ 海外事業戦略の強化



エコベース発電機



極超低騒音型電源車

建設関連以外の  
市場向け製品の拡充



防災用・非常用発電機事業の拡充  
電源車の拡販

環境対応型製品の開発



エコベース(環境保護ベース) 標準  
装備の発電機・溶接機をシリーズ化  
し、環境対応へ貢献

海外事業戦略の強化



- ・ アメリカ、アジア、欧州市場の  
バランスの取れた販売
- ・ 旺盛なアジア市場に対応すべく  
ベトナム工場での完成品製造を計画

# 見通しに関する注意事項

---

この資料には、2014年5月27日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。  
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

トザワ  
経営企画室 兔沢・広井・後藤

電話：03-6861-1178

FAX：03-6861-1185

---

# 參考資料



# 当社の概要

## エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワースーツのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電機溶接機材株式会社」として設立  
昭和34年 我が国初のエンジン溶接機を開発、発売  
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始  
昭和41年 防音型開発  
デンヨー株式会社に社名変更  
昭和58年 東証二部上場  
平成12年 東証一部上場

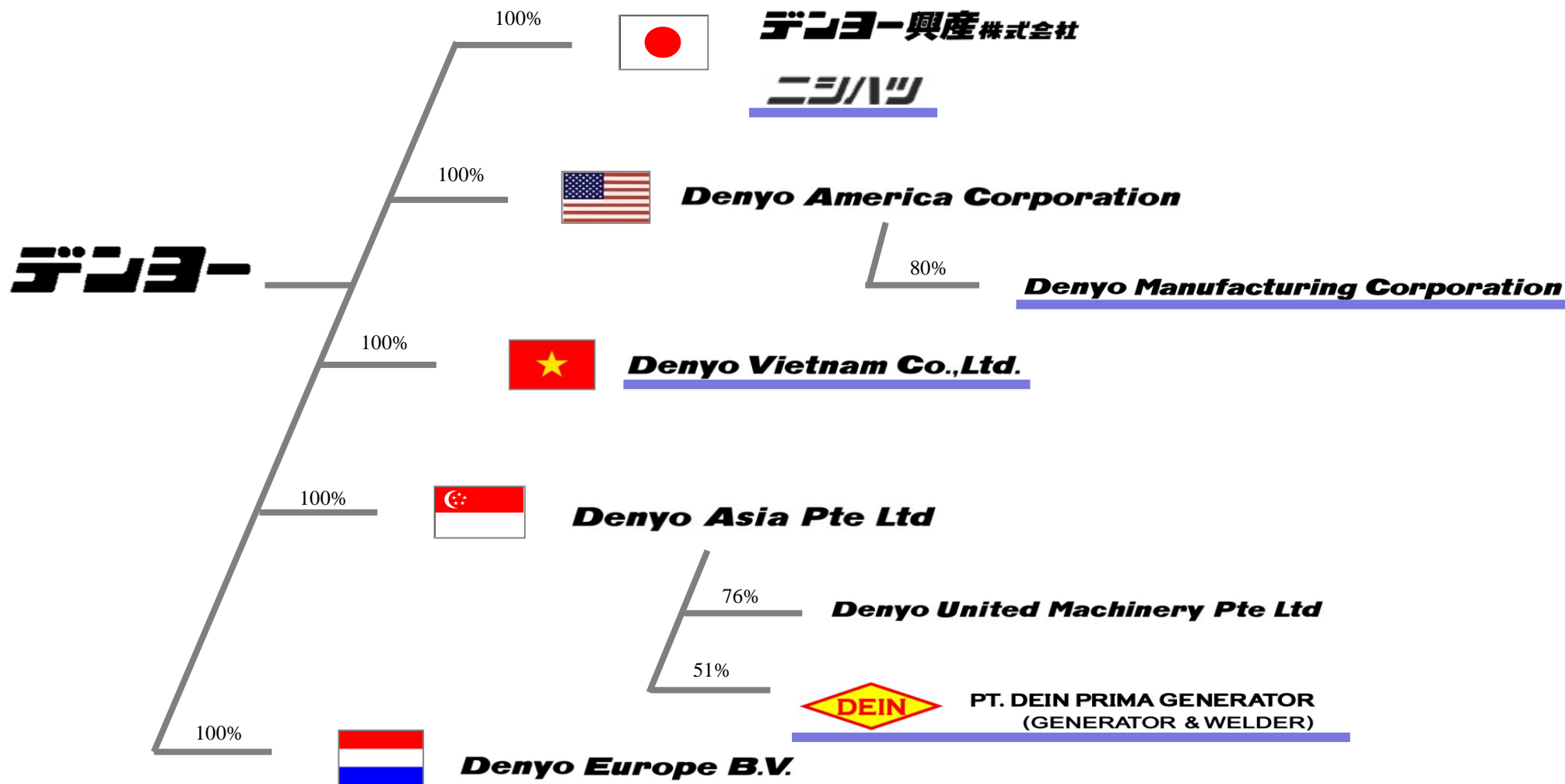
● 会社規模など（2014/3期・連結ベース）（単位：百万円）

売上高	49,832
うち海外売上高	18,104
経常利益	5,636
当期純利益	3,660
総資産	61,513
純資産	44,258
時価総額（3/31時点）	42,264
従業員数	1,056人



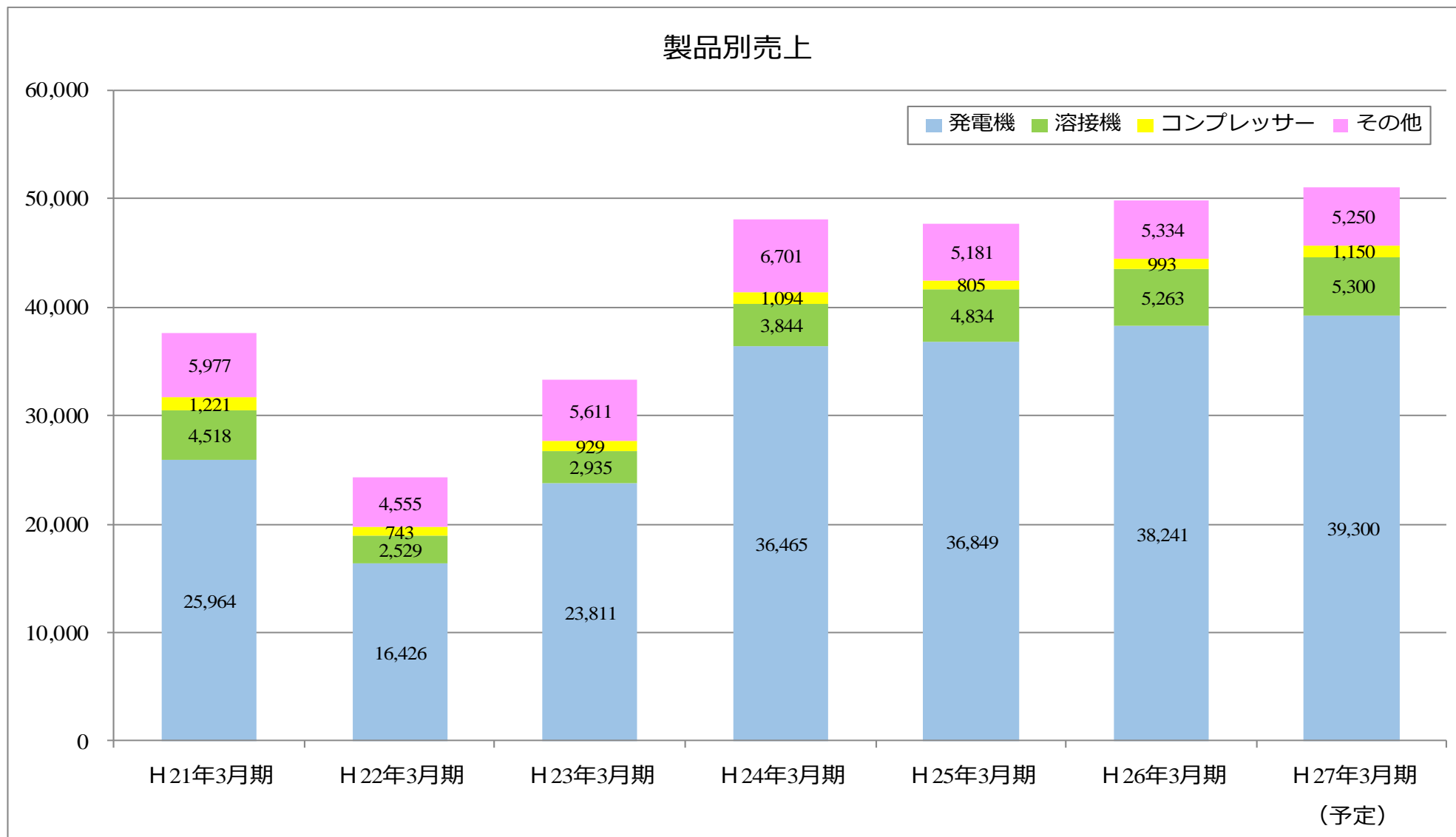
本社（日本橋堀留町）

# グループ会社

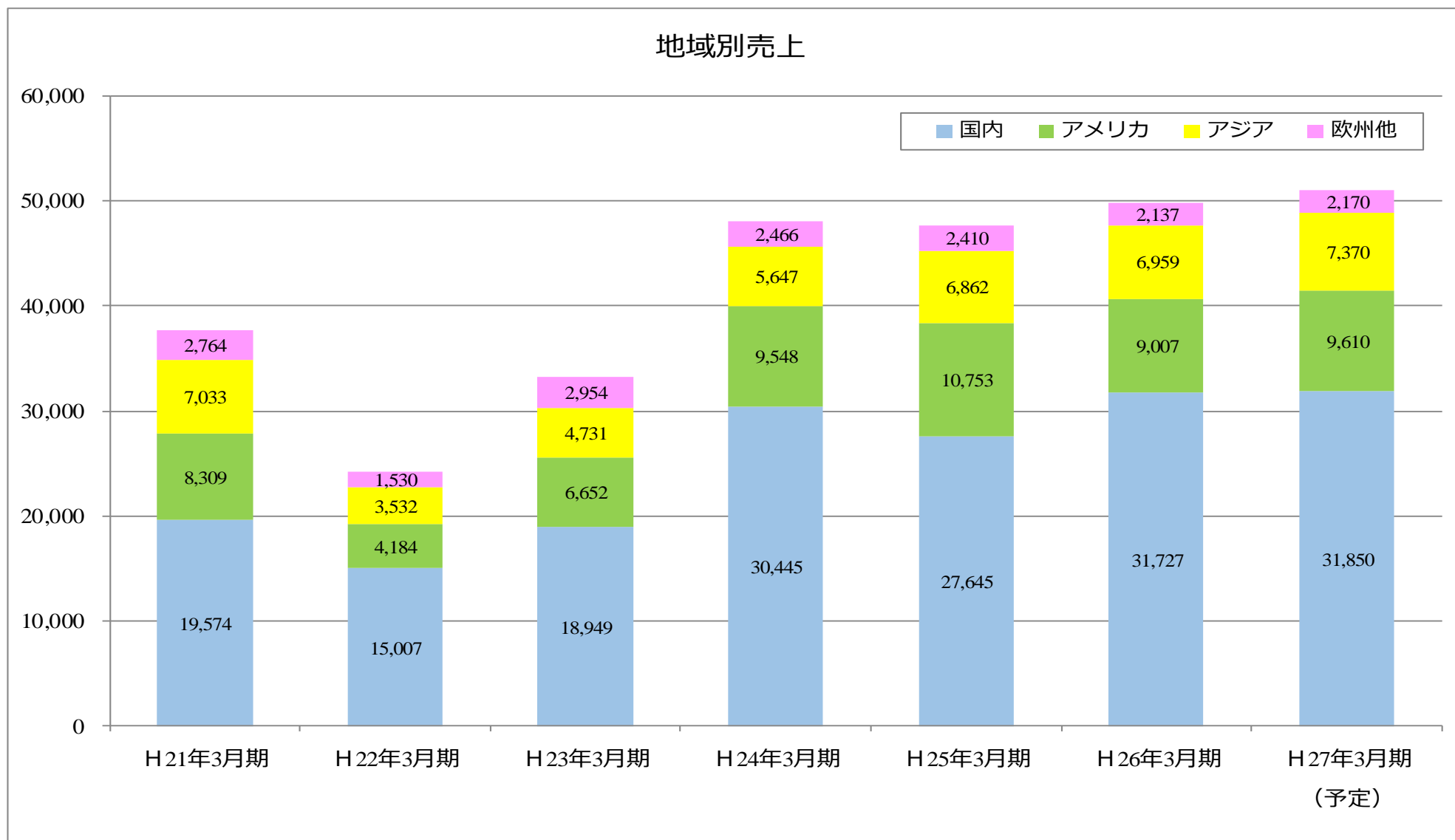


※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販株」(出資比率15.7%)があります。  
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

# 製品別推移と予想



# 地域別推移と予想



# 過去30年間の業績の推移

